



各位

2021年6月10日

会社名 株式会社テンポスホールディングス
代表者名 代表取締役 森下 篤史
(コード番号: 2751 JASDAQ)
問合せ先 取締役グループ管理部長 森下 和光
TEL 03-3736-0319 (代表)

特別損失の計上及び業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年4月期連結会計期間において、特別損失を計上するとともに、2021年3月10日に公表いたしました2021年4月期(2020年5月1日～2021年4月30日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、2021年4月期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症による店舗休業や業績悪化に伴い、減損損失10億36百万円、店舗閉鎖損失1億17百万円、臨時休業等による損失57百万円、その他21百万円を計上しており、合計12億32百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 2021年4月期通期業績予想数値と実績値との差異(2020年5月1日～2021年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	25,730	951	961	△220	△18.42
実績値(B)	27,014	982	1,448	199	16.77
増減額(B-A)	1,284	31	487	418	-
(ご参考) 2020年4月期実績	29,195	1,722	1,903	960	79.82

3. 差異の理由

差異の理由としましては、当社の連結子会社である株式会社テンポスバスターズにおきまして、来店されるお客様への声掛けと接客を徹底して行った結果、客単価が向上したことおよび新規の飲食店開業のお客様を想定以上に獲得することができたことによるものです。これにより、株式会社テンポスバスターズは過去最高業績を記録することが出来ました。また、当社の連結子会社であるキッチンテクノ株式会社におきましても、巣ごもり需要で業績を伸ばすスーパーマーケット企業向けの厨房機器販売や、ラーメン店向けのオリジナル厨房機器「圧力寸胴」の販売が好調となった結果、過去最高益を記録することが出来ました。これらにより、飲食事業で発生した特別損失以上の利益を確保することが出来たため、2021年3月10日に公表しました2021年4月期(2020年5月1日～2021年4月30日)の業績予想を修正するものであります。

以上